DUBBO REGIONAL COUNCIL

ダボ・リージョナル・カウンシル（オーストラリア）（旧ウエリントンカウンシル）

１．提携年月日

１９９２（平成４）年８月２４日
（姉妹都市提携調印の日　継承）

２．大沢野町とウエリントンカウンシルとの提携経過

第３回大沢野町少年少女海外派遣事業におけるホームステイの受入先となったのがウエリントンシャイヤーであり、平成２年８月に少年少女海外派遣団がウエリントンシャイヤー（役場）を訪問した際に、姉妹都市の提携が話題となったのがきっかけである。

平成３年１月にウエリントン評議会議員との交流のため、大沢野町議会議員団が訪問。同年８月、翌年の平成４年８月にも少年少女海外派遣団が訪問した。

この間、大沢野町がジャパンエキスポ富山９２’の「世界のなかま館」に出展するため、ウエリントンシャイヤーの資料の提供、ビデオの撮影等の協力を依頼するとともに、交流の促進を図るため、大沢野町への来町を依頼。平成４年８月２４日、ジャパンエキスポ富山９２’の市町村の日（旧大沢野町の日）に姉妹都市の調印式を行った。

３．双方の合併の経緯

（１）旧大沢野町の合併

平成１７年４月に、大沢野町と富山市を含む１市４町２村による市町村合併により新しく「富山市」が誕生する運びとなり、富山地域合併協議会による協議を経て平成１６年１０月９日に調印された合併協定書において、「姉妹都市及び友好都市については、新市に引き継ぐ」ことが確認されたことから、ウエリントンカウンシルに対し、新市誕生以降も姉妹都市を継続する意向を書面により連絡し、双方において確認した。なお、合併による自動継続のため、改めて富山市とウエリントンカウンシルとの間での盟約書の取り交わしは行っていない。

（２）旧ウエリントンカウンシルの合併

平成２８年５月１２日に、ニューサウスウェールズ州の主導により、ウエリントンカウンシルが隣接するダボ市と合併し、「ウエスタン・プレーンズ・リージョナル・カウンシル」が誕生した。両カウンシルの議会は解散し、平成２９年９月に実施される同州内の議員統一選挙までは同州が任命した職務代理者が暫定的に従来の行政サービスを継続することになった。

姉妹都市関係については、同カウンシルの姉妹都市交流担当から、議員及び市長が選出されるまでの間、旧ウエリントンは富山市と、旧ダボ市は岐阜県美濃加茂市と、それぞれ姉妹都市関係を継続しながら、「姉妹都市諮問委員会」において協議をしていきたい旨の連絡があり、美濃加茂市と歩調を合わせて状況を見守ることになった。なお、民意を反映し、平成２８年９月７日に名称を「ダボ・リージョナル・カウンシル」に変更した。

平成２９年１１月に富山市長が日豪ガラス作家相互交流事業の答礼訪問に合わせて、ダボを表敬訪問することについて、ダボ・リージョナル・カウンシル側が快諾し、平成２９年５月以降、準備を進めた。

平成２９年９月９日の統一選挙において、議員１０名（ダボ４地区　各２名、ウエリントン地区２名　計１０名）が選出され、同月２８日に議員の互選により、ベン・シールズ議員が初代市長に就任したことで、執行体制が確立し、ダボ・リージョナル・カウンシル側において、富山市との姉妹都市交流を継続する旨の意向を確認した。

なお、相手方の合併による自動継続のため、改めて富山市とダボ・リージョナル・カウンシルとの間での盟約書の取り交わしは行っていない。

４．ダボ・リージョナル・カウンシルの概要

（１）沿革

ダボ・リージョナル・カウンシルは、オーストラリア連邦・ニューサウスウェールズ州の中西部オラナ地区にある、人口が約５２，０００人、面積が7，５３６㎢の地方行政区を管轄の行政を担う地方自治体である。ミッシェル、ニューウェルとゴールデンの３つの幹線道路が交わり、ニューサウスウェールズ州各地域への貨物輸送の中心となっている地域でもある。

また、中心街から比較的近いダボシティ空港では、シドニーやメルボルン、ニューカッスル、ブリスベン等への国内線が週２００便近く運航されており、また、シドニー・セントラル駅とダボ駅との間で長距離バスサービスが提供されているなど、豪州国内の主要な都市へのアクセスも良好である。

ダボ・リージョナル・カウンシルは、ニューサウスウェールズ州主導のもと、旧ウエリントンカウンシルと旧ダボ市との合併により、２０１６年5月１２日に誕生した。

ウエリントン地域は、１８１７年８月に探検家ジョン・オックスレイがこの地域を発見し、「ウエリントンバレー」と名付けたことにその名の由来があり、その後、この谷に移住者が増え始め、１８２３年にマッコリー川とベル川の交差する地点にウエリントンの町が誕生し、以降、１９４９年にはウエリントンシャイアに、１９９３年からはウエリントンカウンシルに名称を変更した。

また、ダボ地域も、同じくオックスレイが発見し、最初の入植者であるロバード・ダランティにより「ダボ」（先住民の言葉で「赤い大地」が起源とされる）と名付けられた。大規模な牧羊が行われ、ジョン・モームが建てた「ダンダリマルの邸宅」はその当時の建造物として一般公開されている。１８４０年には複数の入植者が定住し、植民地政府により裁判所と警察署等が設置された。１８４９年には村に指定され、１８８１年にはウエリントンとの間で、１９２５年にはモロングとの間で鉄道が開通するなどのインフラ整備が進み、人口も安定的に増加し、１９６６年からダボ市として市政を敷いた。

（２）位置・気候

ダボ・リージョナル・カウンシルは、オーストラリア大陸の南東部、ニューサウスウェールズ州（州都：シドニー）中西部のオラナ地区にあり、海抜は２７５㍍、ニューサウスウェールズ州の州都シドニーから内陸北西方向に約４００㎞の位置している。平均気温は夏期で最高３２度、最低１６度、冬期で最高１６度、最低４度である。ニューサウスウェールズ州近辺は温帯性気候であり、日本とは逆の四季をもっている。時差は日本より１時間早い。

（３）産業・経済

ダボ・リージョナル・カウンシルでは、農業・牧畜業が主な収入源になっている。小麦、綿花などが栽培される一方、羊や牛の放牧が盛んである。

畜牛は肉にされ、羊はウールや肉に利用される。馬は、この地区の家畜の重要な位置を占めていて、そのなかには純血種、家畜馬、ポニーなどがいる。

また、観光事業もこの地区の経済のなかで重要な位置を占めている。主な観光地には、鍾乳洞や動物園及びビクトリア公園などがある。

また、買い物客が集まってくる大きなスーパーマーケットなどがあるなど、ニューサウスウェールズ州の中西部の中枢的な都

特にダボ地域ある、世界中の動物を集めた３００ha のウエスタン・ブレーンズ動物園は、オーストラリアから多くの観光客が訪れている。

また、ウエリントン地域の鐘乳洞は自然観光地で、その一帯は、主なキャンプのできる３ヶ所の公園の複合施設として発達している。近辺には時計博物館、ボトルハウス、クラフトショップなども設置され、鐘乳洞には年に約数万人の人たちが訪れる。

バレンドン川周辺は、水をベースとする活動（水泳、水上スキー、釣り等）で多くの人々を引きつけている。バレンドン植物園は、オーストラリアの植物の収集をしており、自然植物に興味を持つ人々が多く訪れている。

姉妹都市の寄贈等により、ウエリントン地域には富山市大沢野日本庭園が、ダボ地域には逍遥園姉妹都市ガーデンがそれぞれ整備されており、人気の観光スポットになっている。

（４）教育

ダボ地域では、ニューサウスウェールズ州に複数のキャンパスを持つチャールズ・スタート大学（公立）の児童教育学部や看護学部等があるほか、シドニー大学農村保健部といった高等教育機関がある。小中高一貫校として、１９８３年創立で５７０人以上の生徒がいるダボ・クリスチャン・スクール等の私立校が２校と公立の通信制校が１校ある。その他、中高一貫が１校、公立高校が１校、公立中学が２校、小学校が公私合わせて１３校ある。

また、他のシャイアを含めて周辺地域に分館を持つマッコリー・リージョナル図書館の本館や、ギャラリーと博物館、コミュニティアートセンターで構成されるダボ・ウエスタン・プレーン文化センターがある。

ウエリントン地域には、１９５６年に創立したウエリントン・ハイスクール（中高一貫）がある。学生数は約６００人でさまざまなスポーツと特別教科課程に力を入れている。私立では、１９５３年創立で６００人以上の生徒がいるセントメアリー・カトリック・スクール（小･中一貫）がある。小学校は、１８８１年創立のウエリントン校などの公立小学校が６校、私立ではウエリントン・クリスチャン校がある。その他、幼稚園が３校、職業訓練の専門学校が１校ある。

（５）行政

オーストラリアの政府構造は、連邦、州、地方自治体の三層制であり、州政府は地方自治体に対して強い権限（議会解散や合併など）をもっている。地方自治体の権限は非常に限られており、地方道の整備やごみ収集等の衛生業務、レクリエーション施設の運営や児童福祉等のコミュニティ・サービス等を所管し、警察や消防、公立学校や病院設置等は州政府が所管する。

議員の任期は４年であり、市長は議長として、副市長は副議長として互選により議員の中から選ばれる。任期はそれぞれ２年。

市長・副市長各１名を含め、市議会議員は１０名である。

・市　　長（議　長：非常勤）　（２０２４年１０月３日就任）
　ジョシュ・ブラック
　Josh Black
・副　市　長（副議長：非常勤）
　フィリップ・トイントン
　Phillip Toynton

★　*ダボ・リージョナル・カウンシル*
（ニューサウスウエールズ州）

他の姉妹都市：

美濃加茂市　（日本）　1989.6
蘇州市呉江区（中国）　1995.6

位　　置	：東経 148 度、南緯 32 度	大　　学	：2校
人　　口	：約 52,000 人	小中高一貫校	：3 校（通信制 1 校含む）
面　　積	：7,536 ㎢	中高一貫校	：2校
海　　抜	：275m	小中一貫校	：1校
年間平均降水量	：639mm	高等学校	：1 校
夏期平均気温	：最高 32℃－最低 15℃	中　学　校	：2 校
冬期平均気温	：最高 16℃－最低 3℃	小　学　校	：19 校
		幼　稚　園	：6校
		専門学校	：3校
		図　書　館	：2箇所

５．盟約書

日本国富山県大沢野町とオーストラリアニューサウスウェールズ州ウエリントンシャイヤーは、相互理解と友好親善を増進するとともに、相互交流を通じ日本国とオーストラリアとの親善を促進することを願い、ここに姉妹都市関係を正式に締結することを決定した。

双方は、この姉妹都市の締結を新たな出発点として、教育、文化、経済等の各分野において広範な交流と協力を行うものとする。

姉妹都市の締結は、日本国富山県大沢野町とオーストラリアニューサウスウェールズ州ウエリントンシャイヤーとの変わらざる友情の証である。

この盟約書は、双方の長が署名した日から効力を生ずるものとする。

この盟約書は、双方の長が署名のうえ、各１通を相互に保有する。

富山大沢野日本庭園



６．ダボ・リージョナル・カウンシルとの姉妹都市交流事業経過

年　度	概　　要	
昭和 63 年度 (1988 年)	1「第 1 回少年少女海外派遣団」の派遣 オーストラリア（ゴールバン：NSW 州）ほか訪問 一行 16 名(内生徒 13 名)	8 月 13 日～22 日
平成元年度 (1989 年)	1「第２回少年少女海外派遣団」の派遣 ニュージーランド（オークランド）・メルボルンほか訪問 一行 21 名(内生徒 17 名)	8 月 15 日～24 日
平成 2 年度 (1990 年)	1「第３回少年少女海外派遣団」の派遣（第 1 回） ホームステイ　ウエリントンシャイヤー訪問 一行 21 名(内生徒 17 名) 2「大沢野町議会議員団」の派遣 ウエリントンシャイヤー訪問 一行 12 名（内議員 10 名、随行職員 2 名）	8 月 13 日～22 日 H3 年 1 月 16 日～22 日
平成 3 年度 (1991 年)	1「第４回少年少女海外派遣団」の派遣（第２回） ホームステイ　ウエリントンシャイヤー訪問 一行 20 名(内生徒 16 名)	8 月 15 日～24 日
平成 4 年度 (1992 年)	1「第５回少年少女海外派遣団」の派遣（第３回） ホームステイ　ウエリントンシャイヤー訪問 一行 20 名(内生徒 16 名) 2 ウエリントン代表団が大沢野町を訪問及び姉妹都市提携調印式	8 月 6 日～24 日 8 月 24 日 於：大沢野町生涯学習センター
平成 5 年度 (1993 年)	1「第６回少年少女海外派遣団」の派遣（第４回） ホームステイ　ウエリントンシャイヤー訪問 一行 20 名(内生徒 16 名) 2「町長、議長訪問団」の派遣 3「ウエリントンハイスクールの代表団」の受入 大沢野町でホームステイ 一行 42 人(内生徒 19 名、市民 23 名) ウエリントンシャイヤーからウエリントンカウンシルへ名称変更	8 月 3 日～13 日 8 月 4 日～8 日 9 月 24 日～29 日
平成 6 年度 (1994 年)	1「第 7 回少年少女海外派遣団」の派遣（第５回） ホームステイ　ウエリントンカウンシル訪問 一行 20 名(内生徒 16 名) 2「第 1 回大沢野町民海外派遣団」の派遣 ウエリントンカウンシル訪問一行 19 名 （町民 18 名、付添 1 名） 3 町制施行 40 周年記念式典のため「オフナー町長夫妻」一行の来町	8 月 17 日～27 日 10 月 5 日～11 日 11 月 1 日 於：町民文化会館

年　度	概　　要	
平成7年度 (1995年)	1「第８回少年少女海外派遣団」の派遣（第６回） ホームステイ　ウエリントンカウンシル訪問 一行20名(内生徒16名)	8月2日～13日
平成8年度 (1996年)	1「第９回少年少女海外派遣団」の派遣（第７回） ホームステイ　ウエリントンカウンシル訪問 一行23名(内生徒18名)	7月30日～8月10日
平成9年度 (1997年)	1「大沢野町議員海外行政視察団」の派遣 市長と庭園建設計画について意見交換 一行14名(議員12名、随行職員2名) ２「第１０回少年少女海外派遣団」の派遣（第８回） ホームステイ　ウエリントンカウンシル訪問 一行22名(内生徒18名) ３「第2回大沢野町民海外派遣団」の派遣 庭園の具体的な設計等について協議 一行16名（町民14名、付添2名）	5月18日～23日 7月28日～8月8日 10月1日～7日
平成10年度 (1998年)	1「第１１回少年少女海外派遣団」の派遣（第９回） ホームステイ　ウエリントンカウンシル訪問 一行22名(内生徒18名)	7月27日～8月7日
平成11年度 (1999年)	1「第１２回少年少女海外派遣団」の派遣（第10回） ホームステイ　ウエリントンカウンシル訪問 一行24名(内生徒20名) ２「ニューサウスウェールズ州議員訪問団」の受入 大沢野町を訪問 ３ ウエリントンに大沢野庭園開園 町長、議長、監査委員、企画情報課長が開園セレモニーに出席(大沢野から2,000万円相当を寄贈)	7月26日～8月6日 10月 11月21日
平成12年度 (2000年)	1「庭園を管理する市職員、デニス夫妻」が来町 ２「第１３回少年少女海外派遣団」の派遣（第１１回） ホームステイ　ウエリントンカウンシル訪問ー行20名(内生徒16名) ３ 大沢野町出身の荒瀬洋太君がシドニーオリンピックに出場 町からチケットを送り、ウエリントンカウンシルの議員ら5人が会場で応援	4月6日～11日 7月24日～8月4日 9月
平成13年度 (2001年)	1「第１４回少年少女海外派遣団」の派遣（第１２回） ホームステイ　ウエリントンカウンシル訪問 一行22名(内生徒18名) ２「第3回大沢野町民海外派遣団」の派遣 一行17名(町民15名、付添2名)	7月23日～8月3日 10月1日～7日

年　度	概　　要	
平成 14 年度 (2002 年)	1「第１５回少年少女海外派遣団」の派遣（第１３回） ホームステイ　ウエリントンカウンシル訪問 一行 20 名(内生徒 16 名)	7 月 31 日～8 月 11 日
平成 16 年度 (2004 年)	1「第１６回少年少女海外派遣団」の派遣（第１４回） ホームステイ　ウエリントンカウンシル訪問 一行 35 名(内生徒 29 名) 2 町制 50 周年記念式典のため「ノールス市長夫妻等」 一行来町	7 月 28 日～8 月 8 日 11 月 1 日 於：町民文化会館
平成 19 年度 (2007 年)	1 「富山市中学生親善訪問団」の派遣 上滝志津子東部中学校長一行２６名（内生徒 21 名）	8 月 3 日～11 日
平成 24 年度 (2012 年)	1 姉妹都市提携 20 周年記念「富山市親善訪問団」 の派遣(クライストチャーチ慰問訪問及びキャンベ ラ視察を含む) 老月副市長　一行 6 名(内議員 2 名) 2 姉妹都市提携 20 周年記念「富山市民親善訪問団」 の派遣 梅澤信義富山市民国際交流協会一行 30 名	7 月 24 日～31 日 9 月 21 日～28 日
平成 28 年度 (2016 年)	ダボシティと合併、ダボ・リージョナル・カウンシル 新市が誕生	５月
平成 29 年度 (2017 年)	1「豪州富山市親善訪問団」の派遣 森市長一行３名	11 月 8 日～12 日 ダボ訪問 (11 月 9 日~10 日)
平成 30 年度 (2018 年)	1「ダボ・リージョナル・カウンシル市親善訪問団」の 受入 ベン・シールズ ダボ市長一行８名	5 月 16 日～18 日

ダボ・リージョナル・カウンシルの位置

